

最終 12月 センター試験本番レベル模試

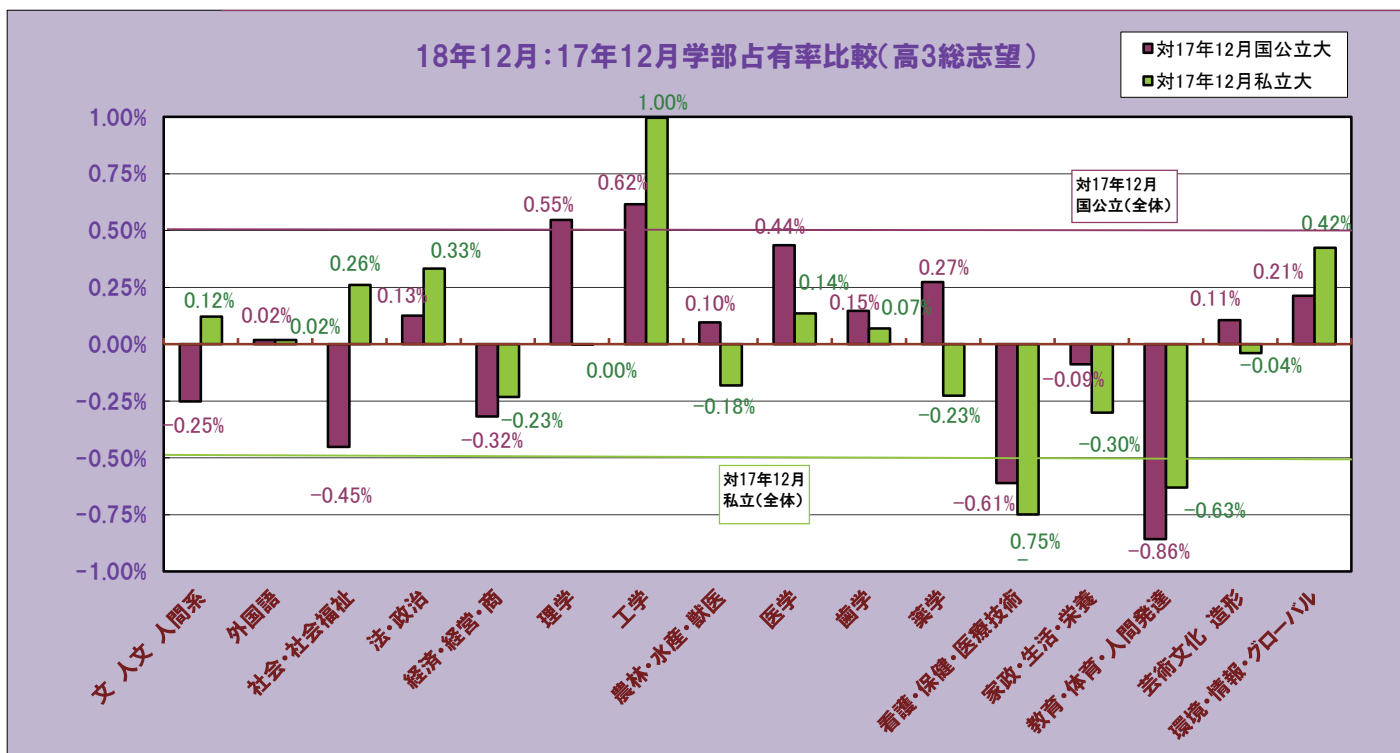
間もなく大学入試シーズン本番！ ベストコンディションで入試に臨もう！

12月16日（日）に実施した「最終 12月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

2019年度入試の本格的なスタートとなる大学入試センター試験まで残り1ヵ月を切った今、これまでの学習の成果を遺憾なく発揮するためには、心身のコンディション調整も重要な要素となる。

ベストコンディションで入試シーズンに臨めるよう、自己管理をしっかりと行っていこう！

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	96	101	100
外国語	101	101	101
社会・社会福祉	85	104	100
法・政治	102	104	103
経済・経営・商	97	99	99
理学	108	100	104
工学	102	106	105
農林・水産・獣医	102	93	98
医学	104	108	106
歯学	118	115	115
薬学	108	92	98
看護・保健・医療技術	93	86	89
家政・生活・栄養	92	85	86
教育・体育・人間発達	92	90	91
芸術文化・造形	116	97	101
環境・情報・グローバル	103	107	106

■国公立大

文高理低傾向の中でも近年、特に人気の高かった経済・経営・商学系はその人気の高さを敬遠してか、法・政治系に志望者がシフトしている傾向がある。一方で、志望者数が減少傾向にあった理系の学部系統は下げ止まり感があり、人気の回復傾向が見られるが、国公立大学に多く設置されている教育・体育・人間発達系は依然として不人気傾向に歯止めがかからない状況である。

■私立大

昨年度人気に陰りが見られ、また今年度は入試に関連する問題が大きな話題として取り上げられた医学系だが、狙い目感からか、人気は上昇している。一方で、新設ラッシュが続く看護・保健・医療技術系は、志望者数に伸び悩みが見られる。

※このデータは、2018年と2017年の「最終 12月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。